



4月18日(木)に全国の中学校3年生全員を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりましたので、保護者・地域の皆様にお知らせします。

今年度は国語と数学に、初めて英語の調査が加わり「読む・聞く・書く・話す」の4技能を調査しました。「話す」調査はコンピュータを使用し、マイクの付いたヘッドセットを装着した生徒の声をパソコンで録音する形式で実施しました。画面のイラストが示す内容を答える他、テレビ局の番組収録という設定で、自分の将来の夢などを語る設問などがありました。その「話す」調査は、環境が整っていない学校は実施しなくてもよしとされたため、調査結果は「読む・聞く・書く」の合計が集計され、「話す」調査は参考値です。

また、国語と数学の調査は、これまでの基礎知識を問うA問題と、応用力を試すB問題が一体化されたため、国・数ともに問題数は減りましたが、一つの問題に知識的、活用的な要素を取り入れており、質的には変わっていません。

さらに、生活習慣や学習環境などの実態を把握するための生徒質問紙調査(質問項目69)も行われました。本校の生徒の傾向を、全国や神奈川県全体の調査結果、今までの本校3年生の調査結果などと比較しながら分析を行いました。

全国学力・学習状況調査 結果の分析概要

1 国語・数学・英語の結果について

- (1) 国語は、無解答の割合は神奈川県や全国平均より低かった。自分の考えを述べる問いに対しては積極的に解答していましたが、「読む力」に課題があります。今後は、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための語彙を増やすことが重要と考え、本や新聞等のまとまった文章に触れる機会を意図的につくっていくことが必要であると思います。
- (2) 数学は、連立方程式の計算や三角形の合同条件の問題など基本的な内容は概ね理解できていますが、関数などの数学的事象の問題や確率の問題に課題があります。また、解答をことばや数、式を用いて説明する問題や記述式問題で無解答の生徒が少なく「自分の考えを大切に授業」を行ってきた成果が表れてきているように感じています。
- (3) 英語は、リスニングにおける外国語理解の能力は身につけているようで正答率も高いです。しかし、内容を聞いたり読んだりして、それに対する自分の考えを書く問題で無解答の割合が高く、外国語表現の能力に課題があります。また、「書く力」の基礎的知識は身につけていますが、自分の意見や考えを表現することに苦手意識をもっているようです。全国的な傾向ではありますが、英語の記述式問題は正答率が非常に低く、大きな課題です。

2 生徒質問紙調査の結果から見えてくる松林中生の学習状況、意識調査の傾向

(1) 国語・数学・英語の教科学習への取り組みについて

- ◆「国語(数学・英語)の勉強は好きだ」「国語(数学・英語)の勉強は大切だ」「国語(数学・英語)の授業の内容はよく分かる」「国語(数学・英語)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均より低かった。
- ◇「1・2年生のときに受けた授業について、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均より低かったのですが、「1・2年生のときに受けた授業について、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均を大幅に上回っていました。
- ◆国語、数学、英語のそれぞれの調査問題で、「調査問題の解答時間は十分でしたか」という質問に、「時間が余った」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均より低かった。

(2) 家庭での生活（生活習慣など）について

- ◇「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時間に寝ている・起きている」といった基本的な生活習慣に関しては、全国や神奈川県平均並みでした。
- ◇「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をするか」という質問に、「している」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均を上回っており、家庭がしっかり機能していることがわかります。
- ◆「新聞を読んでいますか」という質問に、「ほぼ毎日読んでいる」と回答している生徒の割合は3.2%と非常に少なく、逆に、ほとんど読まない生徒が82.5%も占めていました。最近では新聞を取っていない家庭も多いと思われませんが、全国的にみられる傾向で新聞の活字離れが進んでいる状況が伺えます。

(3) 家庭での学習（読書も含む）について

- ◇「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に、「している」と肯定的な回答をしている生徒の割合は全国や神奈川県平均を上回っている。さらに、「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に「2時間以上」と回答している生徒の割合も全国や神奈川県平均を上回っていました。本校は、学習塾等に通っている生徒も多いと思われます。しかし、「全くしない」と回答している生徒の割合も6.9%と高いことは課題です。
- ◇「読書は好きですか」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均を大幅に上回っている。「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問に、「1時間以上」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均を上回っていましたが、「全くしない」と回答している生徒の割合も32.3%で3人に1人在籍していることは課題です。

(4) 松林中生の意識（考え方）について

- ◆「自分には、よいところがあると思うか」という質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的回答をしている生徒の割合は全国や神奈川県平均を下回っていることから、日本の中高生全般でもみられる傾向ですが、本校の生徒も自己肯定感が低いです。
- ◇「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか」という質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をしている生徒の割合は84.7%と高いです。
- ◇「将来の夢や目標を持っている」という質問に、「当てはまる」と肯定的な回答をしている生徒の割合は全国や神奈川県平均より高いです。

(5) 地域や社会とのかかわりについて

- ◇「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均を上回っている。
- ◆「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答している生徒の割合は、全国や神奈川県平均より5%以上低く、自ら進んで地域行事に参加している生徒は少ない状況があります。吹奏楽部や邦楽部などが様々な地域行事に参加している反面、その他の生徒の関心は低いようなので、身近な地域や社会で起きている問題や出来事に関心をもたせるとともに、地域行事などにボランティアとして積極的に参加するよう働きかけていく必要があります。

(6) 学校生活について

- ◆「学校の規則は守っていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均並みでしたが、「人が困っているときは、進んで助けている」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒の割合は全国や神奈川県平均を大きく下回っていました。規範意識やいじめに関しては、継続した指導をしていくことと道徳教育を充実させていく必要性を感じました。
- ◆「1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」という質問から、本校は全国や神奈川県平均と比べ使用頻度が少ないことがわかる。「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いませんか」という質問に、「当てはまる」と回答している生徒が大勢いることを真摯に受け止め、授業改善に取り組んでいきます。